事業名	期日	場所
道南 NOSAI 地区別推進会議	２月１４日	町民センター

活動内容

25 年度運営に向けた、道南 NOSAI 地区別推進会議が今金町で開催され地元首長として出席し挨拶をしました。

橋本清一組合長から、24 年度の総括を含めた 25 年度事業大綱概要の説明と挨拶がありました。

◆　水稲共済では、単位共済金額は、選択制になるということ

◆　補償拡充のために、単位当たり共済金額の最高学選択を推奨し、９割補償の全相殺売渡数量等対比方式、全量出荷の売渡全相殺方式の推進

◆　経営所得安定化対策は、農作物共済の引受面積が交付基礎となる　等々がポイント

特に、農水省経営局長通知による『１県１組合化』という超広域合併推進に向けた検討という重い課題もあります。

町長からは、日本は歴史的にも“結い”“講”など相互扶助の精神土壌があり、昭和 22 年度の共済制度発足は国としての農業災害対策と相まって取り組まれてきたものである。他の産業分野には無い特異な恵まれた制度であることから、有効に活用をすることが望まれる。引受拡大と補償の優位性から特に水稲の半相殺から全相殺への加入促に向けた誘導政策と対象作物全加入への町助成を講じた約２億５千万円の効果は合ったと評価しています。

今後は、反収増・所得拡大に向けた様々な課題の一つである生産基盤の整備に取り組み、天候に左右されない災害対策と生産量拡大は共済加入促進と掛金の軽減対策にも通ずるものと確信し、生産者共々努力して参ります。というコメントを述べました。





